

第4次港区観光振興プラン（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

1 区民意見（パブリックコメント）

(1) 募集期間 令和5年12月1日（金）から令和6年1月4日（木）まで

(2) 人数・件数

	人 数	件 数
インターネット	12人	22件
会 議	3人	4件
郵 送	0人	0件
F A X	0人	0件
持 参	0人	0件
合 計	15人	26件

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 素案への反映状況

	反映状況	件数
①	意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの	5件
②	意見の趣旨は、既に素案で記載しているもの	5件
③	意見の趣旨は、既存事業などで対応しているもの	1件
④	意見の内容に対応できないもの	0件
⑤	意見として受け止め、今後の検討としたものなど	15件
	計	26件

区民意見募集（インターネット等）により寄せられた区民意見

《素案への反映状況》

- ① 意見の趣旨を踏まえ、素案を修正したもの
- ② 意見の趣旨は、既に素案で記載しているもの
- ③ 意見の趣旨は、既存事業などで対応しているもの
- ④ 意見の内容に対応できないもの
- ⑤ 意見として受け止め、今後の検討としたものなど

No.	意見の概要	区の考え方	素案への反映状況	掲載ページ
1	概要版だと具体的にどのような取組を実施するのかわからない。	実施する取組がわかりやすくなるよう工夫します。	①	-
2	現行計画（第3次港区観光振興ビジョン[後期計画]）の取組状況の成果に関する記述がないまま、現状と課題の整理が記載されているため、第4次港区観光振興プランへの移行の根拠となるものがわかりづらい。	現行計画の各取組の進捗状況については、概要を本編に追記します。	①	P23-P25
3	コロナ禍で改定した現行計画の目標に対する令和5年度の目標達成度やその検証が必要。また、各目標の令和5年度の目標値との乖離をどう捉えているのかを踏まえて、令和8年度の目標を検討すべきではないか。また、新たな目標値についても、次回調査から追加項目になるので現時点では実績なしだが、区の意志としての目標数字を記載すべき。	過去の目標値を追記することにより、結果との乖離状況を考慮した上での目標設定であることを示します。新たな目標値については参考となる数値が無いため、次回調査時に調査内容を十分に検討した上で数値を把握します。	①	P30-P31

No.	意見の概要	区の方考え方	素案への反映状況	掲載ページ
4	重点事業の選定基準はあるのか。加重施策や具体的な強化策など検討されるのか。重点事業に位置付けた背景があるとイメージしやすい。	重点事業の設定理由を、本編に追記します。特に強化する事業は検討します。	①	P35-P40
5	取組においては、具体的な取組内容を1項目1つでも記載した方が良い。全取組が広義な表現で、掲げただけにならないよう施策の実施の有無や、進捗を確認できる記載が良いと思う。	取組内容がわかりやすくなるよう、取組の実施状況や実績があるものについては、写真等を挿入することで工夫します。各取組の進捗は、毎年度実施状況を把握し、次年度の取組に反映します。	①	P42-P65
6	竹芝から水上バスで台場へ行く際、自転車を同乗させることができることをもっと周知できないか。水上バス、ちいばすなどの交通機関とスポットをつなぐ自転車での観光ルートがあると良い。	乗車券のほか、別途特殊手荷物運賃を支払えば一定の条件下で自転車の同乗は可能です。自転車シェアリングの利用を含めた自転車での観光ルートについて、観光冊子やホームページ等で紹介してまいります。また、交通事業者との連携も含めて検討してまいります。	②	P47 取組 14
7	古川や坂道など地形に関するガイドツアーもあると良い。	港区は「坂」が多い区であるため、古川や坂に着目した観光ボランティアガイドツアーを検討していきます。	②	P49 取組 20
8	浜松町駅の案内地図の前で地下鉄への行き方がわからず迷っている外国人や飲食店でメニューの内容を尋ねるも話が通じずに困っている外国人をよく見かける。対策として、「観光・街区案内標識の充実によるまち歩きの利便性向上」の取組と合わせて、様々な観光客の立場に立って、あらゆる案内表示を見直してはどうか。区民のボランティアを募り、要所で案内人を設置するのはいかがか。また、飲食店など観光客の利用が多い店に対して、外国人向けのメニューや案内を作るサポート等の取組をしても良いのではないか。	観光・街区案内標識の掲載内容について、外国人の視点も取り入れながら盤面更新を進め充実を図ります。また、要所への案内人の設置については「観光インフォメーションセンターの拡充」の取組の中で検討してまいります。外国人向けのメニューや案内を作るサポートについては、本プランの「アレルギーの配慮やムスリム等の習慣に対応した案内表示の周知」の取組の中で実施してまいります。	②	P50 取組 23 P52 取組 29

No.	意見の概要	区の考え方	素案への反映状況	掲載ページ
9	富裕層に向けた施策により、更なる訪日外国人の消費単価の上積みを狙うことも目指してはいかがか。区内には MICE 誘致団体が複数あり、国際会議での VIP 向けなど、一段上のサービス・空間を区、民間企業・団体と連携することで提供できるのではないかと考える。国や東京都の構想や戦略においても、ナイトライフの充実が必要と位置付けられている。区で実施しているナイトタイムエコノミー補助金事業の拡充等により貢献できると考える。例えば、港区の地域特性である水辺を活用した施策(船の活用促進など)を実施するのはいかがか。	富裕層・訪日外国人旅行者の観光消費額を高める施策として、MICE 誘致やナイトタイムエコノミーの充実が重要だと認識しています。水辺の活用も含めて区内 DM0 と連携してプロモーションを検討してまいります。	②	P55 取組 34 取組 35
10	区の施策等を絡めて、自社の事業計画等に生かしていくような使い方ができればと感じた。	民間事業者と連携した取組を推進してまいります。	②	P68
11	東京都を中心とした国際会議が行われる環境の整備も一つの重要な施策にすると良い。特に国際会議では家族の同行も多いため、滞在中に家族が楽しめる多彩な取組を積極的に進める必要がある。	大規模な国際会議ができる施設等を活用した MICE の誘致とともに、訪日外国人に向けた取組を実施してまいります。	③	P55 取組 35
12	港区の強みである「人」を生かしてほしい。ウェルビーイング向上を目指す取組、自然エネルギーにあふれ、心理的安全性が醸成された状況こそが港区の目指す SDGs だと思う。「人」に焦点を当てた、「人的資本観光振興プラン」としての角度から検討してほしい。	第4次港区観光振興プランでは、「つなげる」をキーワードに施策を検討しました。「人」とのつながりを意識した施策を推進してまいります。	⑤	-
13	観光大使同士や MINATO シティプロモーションクルー認定事業者との連携強化によって、観光大使の活動の幅が広がるため、その機会を区でつくるべき。	港区観光大使意見交換会で MINATO シティプロモーションクルー認定事業者の紹介を取り入れるなど、双方で連携できるような機会を検討します。	⑤	-

No.	意見の概要	区の考え方	素案への反映状況	掲載ページ
14	創業百年以上の老舗店の集まり(芝百年会)では、店主が中心になり、座学・歩学を定期的実施する地元人目線でのユニークな活動を実施している。リピーターが多く支援強化をお願いしたい。	芝百年会への支援についてはヒアリングの上、検討してまいります。	⑤	-
15	観光大使の名刺の活用として、配布者に買い物やお土産購入時の割引などの特典をつけることで、配布時の話題として有効ではないか。	ご意見のとおり、港区観光大使の名刺に特典をつけることで話題性はあると認識しています。港区観光大使の名刺の活用については、様々なご意見を踏まえて検討してまいります。	⑤	-
16	観光大使有志が定期的に行っているイラスト散歩について、新しい観光導線にもなるので、区に支援してもらいたい。	イラスト散歩について、どのような支援ができるかヒアリングした上で検討してまいります。	⑤	-
17	インバウンドが多く訪れる港区の観光案内所の充実とともに、産学官連携事業として区内の大学生を活用したボランティアの観光案内を実施してもらいたい。	ご提案を受け止め、区内大学と検討してまいります。	⑤	-
18	ナイトタイムエコノミー推進の取組として、博物館・美術館について夜間も文化資源に触れることができるよう、夜間開館推進に向けて働きかけるべき。また、シティプロモーションでPRするなど、広報施策と連携すべき。	博物館・美術館の夜間開館については、港区ミュージアムネットワーク等を通じて検討してまいります。また、区内ホテルに設置しているシティプロモーションツール「とっておきの港区」において、ナイトタイムエコノミーを楽しめるスポットや店舗を紹介していますが、広報担当とも連携してこれまで以上に広くPRします。	⑤	-
19	PDCA サイクルで実施とあるが、シン・トセイ（都政の構造改革）の「スピード」「オープン」「デザイン思考」「アジャイル」「見える化」の5つのキーワードで実施するプランとした方が、東京都や東京観光財団との連携に合致する。アジャイル型社会実装をしなくては時代についていけない。	ご意見のとおり、環境やニーズの変化に応じた改善、進化（アジャイル）が必要であるため、社会情勢、世界、国及び東京都等の動向を注視してまいります。	⑤	-

No.	意見の概要	区の考え方	素案への反映状況	掲載ページ
20	観光振興の目的は、経済面のみならず、文化や風習といった日本のマインドへの理解を通じて醸成するもの。区民・在勤者とともに、訪れる観光客が歴史や文化、風習や風土を感じて「来て良かった」と思えるような「オモテナシ」ができるとうい。	いただいたご意見のとおり、日本の魅力を感じてもらえるよう区民や商店街等と連携して、観光施策を講じていきます。	⑤	-
21	富裕層については、食・文化・自然・エネルギーといった分野に関心を示し、かつそれらがサステナブルな取組であることを評価する傾向にあるので、その点を意識したプランにするとより魅力的になる。	国・東京都においても「持続可能な観光」をキーワードに、事業を展開し推進しています。港区においても、持続可能な観光の推進をめざし、世界・国・東京都の動向を注視しながら取り組んでまいります。	⑤	-
22	他区とも比較して、商業と観光振興、名産品育成などの施策が足りていない。港区の老舗や新たな観光素材に繋がる土産の開発や名産品の育成について取組強化が必要。港区は自力で販路拡大が図れる事業者も多いが、区としても観光客またはビジネスでの来訪者に向けて、区内の経済活動に繋がる施策を講じれば、来訪者の区内回遊率向上にも繋げていくことが可能だと思う。	港区観光協会や民間事業者等と今後の検討課題として整理してまいります。	⑤	-
23	ナイトタイムエコノミーに関しては、観光ボランティアガイドとして橋りょうライトアップとコラボレーションした舟運ツアーしか実施できていない。クリスマスのイルミネーションやライトアップなども活用できないか。	イルミネーションやライトアップの活用については、観光ボランティアガイドと連携して観光ツアーを検討してまいります。消費活動にもつながりやすいテーマのため区としても提案してまいります。	⑤	-
24	自転車利用のツアーを検討する場合、道路交通法などの知識も必須となってくると思うがいかがか。機会があれば講習会などに参加したい。	自転車利用のツアーを検討する際は、関係所管課と連携してツアーにおける課題等の対応について整理してまいります。	⑤	-

No.	意見の概要	区の考え方	素案への反映状況	掲載ページ
25	<p>令和4年度に実施した観光動態基礎調査については、母数（n）や頻度を増やすべき。3年分の基本データと捉えるにはリスクがある。また、調査対象者が1年以内の来訪者とはいえ、調査実施時期により季節感などの印象が影響することもある。「戦略的な観光振興を支えるデータ基盤づくり」にもあるように、データ収集部分からの底上げに向けた具体的な計画が必要。調査項目（目的）によっても活用するデータの優劣もあるので、複数のデータの活用（組み合わせ）などで精度を高めていく必要がある。</p>	<p>次回実施する観光動態基礎調査では、調査実施時期を改めて検討し直し、調査対象者数を増やすことを検討します。調査内容については、来訪時期等を質問項目に加えるなど検討します。ご意見のとおり、「戦略的な観光振興を支えるデータ基盤づくり」の各取組の中で港区観光協会と連携し、様々な観光市場データの把握に努め、観光施策を推進してまいります。</p>	⑤	-
26	<p>港区の多くの観光資源が体系立てて効率よく生かされていない。その中で、水辺の観光資源の活用については、他区に比べて明らかに遅れている。お台場の海は毎日多くの観光船でにぎわっているが、発着地点は港区ではなく品川区や中央区など隣区の棧橋となっている。港区の海の観光資源を生かす水上交通の拠点は、田町駅に最も近いところに位置することが有効であり、田町駅近くの棧橋の活用は、港区の観光資源の活用という視点から見ると看過できない課題ではないだろうか。</p>	<p>水辺資源の活用については、近隣区と連携して検討してまいります。田町駅近くの棧橋の活用については、舟運事業での活用予定はありませんが、イベントでの活用について関係団体等と協議してまいります。</p>	⑤	-